

平成23年度第1回北海道地方独立行政法人評価委員会
試験研究部会 議事録要旨

-
- 開催日 平成23年4月18日(月) 14:20 ~ 14:50
○場所 北海道庁別館西棟 5階C会議室
○出席者 (委員) 安達委員、石橋委員、北野委員、細川委員
(事務局) 総合政策部科学IT振興局総合研究機構運営支援室 渡辺参事、
阿部主幹、成田主幹
- 議事 (1) 部会長の選任
(2) 部会長代理の指名
(3) 年度評価実施要領の平成22年度項目別評価の視点
(4) 【報告】地方独立行政法人北海道立総合研究機構 平成23年度計画
- 資料 資料1 地方独立行政法人北海道立総合研究機構年度評価実施要領の項目別評価
の視点
資料2 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 平成23年度計画
-

(事務局)

- 開会挨拶
渡辺参事

(事務局)

- 議事(1) 部会長の選任について、北海道地方独立行政法人評価委員会条例第6条第3項において、部会長は部会に属する委員が互選することとなっている。部会長に立候補される方、又は推薦される方があればよろしく願いたい。

(委員)

- 先程委員会で副委員長に選任された石橋委員に願いたい。

～委員 異議なし～

(事務局)

- それでは部会長に石橋委員が選出されたのでよろしく願いたい。
また、議事の進行についても願いたい。

(部会長)

- 部会長就任に当たってご挨拶申し上げます。
本部会においては、皆様方のご協力をいただき、道総研の中期目標、年度評価要領等の審議を行うことが出来たことに感謝申し上げます。
地方独立行政法人制度は、目標による管理と適正な実績評価が制度の柱となっており、本部会の役割は非常に重要である。本年度から実施する年度業務実績評価の審議を通して、地域の期待に応えられる試験研究機関となるよう、客観的かつ中立公正な立場から率直な議論をして参りたいので、ご協力願いたい。

(部会長)

- 議事(2) 部会長代理について、評価委員会条例第6条第5項において、部会長が予め指名する者が職務を代理することとなっているので、私の方から細川委員を指名したい。細川委員よろしいか。

～細川委員 了承～

(部会長)

- それでは部会長代理を細川委員に願います。
●議事(3) 年度評価実施要領の平成22年度項目別評価の視点について、事務局に説明要請。

(事務局)

○資料1に基づき説明。

(部会長)

●評価する側としては、できるだけ数値があれば評価しやすいということはあるが、実際に評価を受けた立場からするとボリュームのバランスも重要。

(事務局)

○現在、道総研において、業務実績報告書の内容を検討しているところ。6月に評価の進め方を説明するが、詳しく知りたい部分については、業務実績報告書のほか、別途道総研から提出してもらうことも出来ると思う。

(委員)

●視点については問題ない。評価を運用していくにあたって、122の項目に対する評価の積み重ねによって総合的な評価をするということになるかと思うが、個々の評価と全体の評価は別の視点が必要かと思う。全体評価に対する考え方のようなものを、これから見つけていかなければいけないと思う。

(事務局)

○評価は中項目単位であり、さらに大項目、全体をトータルで評価していくことになるので、実際の評価を通して、全体評価についても整理していきたい。

(委員)

●S、A評価の基準が達成度90%以上という厳しい評価は、今回が初めての経験であり、正直やってみないとわからないというところである。評価の視点はこれでよいと思う。

(部会長)

●評価は7月中旬に終わっているイメージか。

(事務局)

○7月に第2回部会で道総研へのヒアリングを予定している。そこでの審議を踏まえて、8月の第3回部会で決定となる。そこで結論が出なければ、8月下旬に第2回委員会を予定しており、その前段に部会を開催し決定となる。

(部会長)

●ではこの議事については、案のとおり決定する。

●次に議事(4)【報告】地方独立行政法人北海道立総合研究機構 平成23年度計画について、事務局に説明要請。

(事務局)

○資料2により説明。

(部会長)

●中期計画に記載されている数値目標は5年間トータルのものか。各年度の数値を累積したものということか。

(事務局)

○5年間の数値目標を累積したものではなく、あくまで中期計画最終年度の数値目標である。

(部会長)

●予算の1%削減は反映されているのか。

(事務局)

○効率化対象部分と対象外部分があるので単純に1%にはなっていないが、対象部分に反映されている。

(委員)

●事務局として22年度計画と特に違うと感じる点はどこか。

(事務局)

○利用者等への広報強化の内容を具体化したところや、研究推進項目において23年度に新規・拡充、又は重点的に取り組む研究を項目毎に明記したところかと思う。

(部会長)

●委員会でもPRが大事だという意見はよく出ていた。

(事務局)

○広報計画を作成しており、例えば道庁1階で月1回ランチタイムセミナーというものを道民向けに開催している。

○道総研という名前の浸透という部分で、理事長も気にされているのは、新聞記事等で未だに「道立」という記載がされており、その都度新聞社等に申し入れをしていると聞いている。

(部会長)

●それではこれで議事を終了します。

●最後に事務局から連絡事項。

(事務局)

○これから評価委員会の審議があるので、会場を移動していただく。

今後の部会については、後日日程を調整させていただく。